

月	単元・題材名（時数）	目標	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	見えないだけ(1) アイスプラネット(3) 問いを立てながら聞く(1) 自分流「枕草子」を書こう(3)	言葉がもつ価値を認識し、語感を磨き、言葉を豊かにすることができる。 登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。 論理の展開などに注意しながら自分の考えをまとめることができる。 古典のものの見方や考え方を、自分の知識や経験と結び付けて書くことができる。	抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意しながら読んでいる。 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 現代語訳などを手掛かりに、古典に表れているものの見方や考え方を捉えている。	登場人物の言動などから設定の仕方などを捉えている。 異なる立場や考えを意識し、論理の展開に注意しながら自分の考えをまとめている。 作者の考えと自分の考えを比較しながら、季節感を表す文章を書いている。	進んで語感を磨き、これまでの学習を生かしながら朗読しようとしている。 積極的に登場人物の設定の仕方などを捉え、伝えようとしている。 進んで論理の展開などに注意しながら自分の考えをまとめている。 進んで文章を読んで理解したことを、知識や経験と結び付けて書こうとしている。
5	情報整理のレッスン「思考の視覚化」(1) 多様な方法で情報を集めよう—職業ガイドを作る(5) 熟語の構成(1) 毛筆 点画の省略(書写・3)	情報と情報との関係の表し方を理解し、使うことができる。 多用な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 熟語の構成の種類について理解することができる。 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	情報と情報との関係の表し方を理解し、使っている。 情報と情報との関係の表し方として、集めた情報を図表にまとめ整理している。 熟語の構成を捉えることができる。 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	多用な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報と情報との関係の表し方を理解し使おうとしている。 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、職業ガイドを作ろうとしている。 熟語の構成を意識して読んだり書いたりしようとしている。 進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。
6	クマゼミ増加の原因を探る(4) 思考のレッスン1「具体と抽象」(1)、 魅力的な提案をしよう—資料を示してプレゼンテーションをする(5) 単語をどう分ける？(3) 毛筆 筆順の変化(書写・3)	文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容の解釈ができる。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して話の構成を工夫することができる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くとともに筆順の変化を捉えることができる。	話、文章の構成、展開について理解を深めている。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 言葉の特性を踏まえた表現方法を用いてプレゼンテーションをしている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くとともに筆順の変化を捉えている。	文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して話の構成を工夫してプレゼンテーションしている。	積極的に文章と図表などを結び付け、内容を解釈しようとしている。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解しようとしている。 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもちながらプレゼンテーションしようとしている。 積極的に単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解しようとしている。 進んで行書の書き方を理解して書くとともに、筆順の変化を捉えようとしている。
7	メディアの特徴を生かして情報を集めよう(3) 短歌に親しむ(4) 言葉の力(2) 類義語・対義語・多義語(2) 読書を楽しむ、翻訳作品を読み比べよう(2)	観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。 短歌を創作し、感じたことや想像したことを書くことができる。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けて、自分の考えを深めることができる。 類義語・対義語・多義語について理解することができる。 本や文章には様々な考えが書かれていることを知り、読書生活に生かすことができる。	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 情景や心情が生生きと伝わる言葉を選んで書いている。 言葉に対する筆者の考え方を捉え、筆者の考えに触れることで自分の考えを深められることを理解している。 類義語・対義語・多義語について理解している。 本や文章には様々な考えが書かれていることを知り、読書生活に生かしている。	観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。 表現の効果を考えて描写するなど自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けて、自分の考えを深めている。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、表現の効果を考えようとしている。 進んで短歌の構成や表現について考え、想像したことを書くようしている。 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けて、自分の考えを深めようとしている。 類義語・対義語・多義語について理解しようとしている。 本や文章には様々な考えが書かれていることを知り、読書生活に生かそうとしている。
8   9	盆土産(4) 字のない葉書(3) 聞き上手になろう—質問で思いや考えを引き出す(1) 敬語(2)	登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈することができる。 文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果を考えることができる。 論理の展開に注意して聞き、自分の考えをまとめることができる。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	登場人物の言動や情景を表す語句に着目した解釈の仕方を理解している。 表現に着目して人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。 言葉による相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 敬語の働きを理解し、話や文章の中で使っている。	登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈している。 人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。 論理の展開に注意して聞き、自分の考えをまとめている。	粘り強く登場人物の言動の意味について考えようとしている。 進んで表現の効果について考えようとしている。 粘り強く論理の展開に注意して聞き、自分の考えをまとめるようしている。 積極的に敬語の働きについて理解し、使おうとしている。

	表現を工夫して書こう、表現の効果を考える(4) 同じ訓・同じ音をもつ漢字(1) 硬筆 行書の練習(書写2)	自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 同じ読みで意味の異なる言葉の使い分けについて理解することができる。 漢字の行書の書き方を理解して、硬筆で読みやすく速く書くことができる。	敬語の働きについて理解し、話しや文章の中で使っている。 同じ読みで意味の異なる言葉の使い分けについて理解している。 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	根拠や具体例を加えることで自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に自分の考えが伝わる文章を書こうとしている。  積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。 進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。
10	モアイは語る(4)  思考のレッスン2「根拠の吟味」(1)、  根拠の適切さを考えて書こう—意見文を書く(4)  立場を尊重して話し合おう—討論で多角的に検討する(5)	文章の構成や論理の展開について考え、筆者の主張に対する自分の考えをもつことができる。 根拠を吟味する方法を理解し、自分の文章に生かすことができる。 根拠の適切さを考えて、自分の考えが伝わる文書になるよう工夫することができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめることができる。	筆者の主張がどのような根拠に支えられているかを理解している。  情報と情報との関係をもとに、根拠を吟味している。  自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。  説得力のある根拠とともに、意見をまとめている。	筆者の主張に対して、自分の知識や体験と重ねて考えを文章にしている。  根拠となる事実を具体的に示したり想定される反論に対する意見を示したりしている。 根拠の適切さを考えて、自分の考えが伝わる文書になるよう工夫している。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめている。	論理の展開について考え、筆者の主張に対する自分の考えを文章にしようとしている。  積極的に意見と根拠の関係について理解し、自分の文章に生かそうとしている。 粘り強く根拠の適切さを考え、意見文を書こうとしている。 互いの立場や考えを尊重しながら進んで討論しようとしている。
11	音読を楽しもう 月夜の浜辺、木(2) 扇の的一「平家物語」から(4) 仁和寺にある法師—「徒然草」から(3) 漢詩の風景(3)  毛筆 行書と仮名の調和、行書に調和する仮名(書写・6)	詩の構成や表現の効果について考えることができる。 古典に表れたものの見方や考え方を知り、登場人物の言動の意味を捉えたり、自分の考えをもつことができる。 漢詩について理解し、構成や表現について考えことができる。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	語句に注目して詩全体の世界を豊かに想像している。 現代語訳や語注などを手がかりにして、当時の人々の考え方や作品の特徴について理解している。 漢詩の種類や構成について理解している。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	詩の構成や表現の効果について考えている。 登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈して、登場人物について論じる文章を書いている。 好きな漢詩を選び、朗読し、好きな理由を伝え合うことができる。	詩の構成や表現の効果について考えようとしている。 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、登場人物について考えたことを論じる文章を書こうとしている。 進んで作品を朗読し、好きな漢詩を選んで理由を述べようとしている。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書こうとしている。
12	君は「最後の晚餐」を知っているか、「最後の晚餐」の新しさ(5) 魅力を効果的に伝えよう—鑑賞文を書く(4)  走る。走らない。走ろうよ。(2)  研究の現場によろこそ(1)  毛筆 行書と仮名の調和、行書に調和する仮名、校内書初め展に向けて(書写・6)	鑑賞文について知り、文章の構成や論理の展開について考えることができる。 作品の魅力を伝える言葉を選び、自分の考えが伝わるように工夫して文章にすることができる。 用言の働きや語形変化について理解することができる。 読書を自分の考えに役立てることができる。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	筆者が示す具体的な例示について理解している。  作品の魅力を伝える言葉を考え、より効果的な語句を選んでいる。  用言の働き、活用の仕方などについて理解している。  本や文章には様々な考えが書かれていることを知り、読書生活に生かしている。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	文章の構成や表現の特徴、目的について考えている。  作品の魅力が伝わるように、効果的な語句を選んで文章を書いている。  読書が自分に影響した事例を考えている。	粘り強く考えたことを文章にまとめようとしている。  進んで表現の効果を考えて描写し、鑑賞文を書こうとしている。  積極的に単語の活用について理解しようとしている。  進んで読書が役立つことを理解しようとしている。 行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書こうとしている。
1	走れメロス(6)  一字違いで大違い(3)  書写：硬筆 楷書と行書の使い分け、季節のしおり(書写・3)	登場人物の言動や心情の変化などの意味を捉えて内容を解釈することができる。 助詞と助動詞の役割と働きの違いについて理解することができる。 楷書、行書のそれぞれを使う場面を具体的に理解する。	話の展開に沿って心情を表す表現を捉え、その変化の意味を理解している。 助詞と助動詞の種類と働きの違いを理解している。  行書を使う場面が具体的に理解できる。	場面ごとに自分の言動を考え、作品と結び付けて考えることができる。	登場人物の言動の意味について考え、意見を交換しようとしている。 積極的に助詞や助動詞について理解しようとしている。  進んで楷書、行書を使う場面を考え、使い分けようとしている。
2	構成や展開を工夫して書こう—「ある日の自分」の物語を書く(4) 話し言葉と書き言葉(2)  送り仮名(2)	自分の体験から題材を探し、表現を工夫しながら文章を書くことができる。 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、日常生活に生かすことができる。 送り仮名を送る原則を理解することができる。	文章の構成や展開について、これまでの学習を生かして考えている。 話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴について理解している。 原則的な送り仮名の送り方が理解できる。	段落相互の関係、文章構成や展開を工夫してわかりやすく伝えるように書いている。 話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえて、話したり書いたりしている。 送り仮名に注意して文章を書くことができる。	粘り強く文章の構成や展開を工夫して物語を書こうとしている。 言葉の違いを積極的に考え、日常生活に生かそうとしている。 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	国語の学びを振り返ろう—テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る(6)	グループごとにテーマを決め、一年間の学習事項を使って壁新聞を作成することができる。	敬語や書き言葉を使って文章を書いている。	文章構成や展開を工夫し、分かりやすく伝える工夫をして伝えることができる。	進んで今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。